

男女共同参画推進コーディネーターによる女性活躍のためのネットワークづくり 【長野県飯田市】

個別事業費	1,065 千円
交付金額	532 千円

地域の実情と課題

当市における民間企業の雇用者の各役職段階に占める女性の割合(2021年)は係長相当職28.1%、課長相当職19.4%、部長相当職12%と全国と比較すると高い数値であるが、国が2025年を期限として設定する成果目標には及んでいない。この背景には、「家事育児等の制約に加えて、女性自身が昇進、昇格を望まず、仕事に消極的である」という実態調査の結果がある。更に、地域の人口動態では、10歳代後半から20歳代前半までの若年層の人口流出が顕著で、特に、当地域へ戻ってくる者の割合は、男性よりも女性の方が低い状況である。

事業の特徴

男女共同参画推進コーディネーターを配置し、起業を考えている女性の交流会「起業どうしようかなクラブ」を実施したこと。

事業の効果

起業を模索する女性が一人で悩まず、同じ志を持つ女性との交流を通じて、身近なところでロールモデルとなる女性と出会うことで、自身の起業の考え方に広がりを持たせることにつながった。
女性起業家の交流会実施に当たっては、男女共同参画推進コーディネーターのファシリテーションにより、起業を模索している女性が、対等の関係性で対話できる雰囲気づくりを行った。こうした雰囲気を醸成することで、参加者同士に強いネットワークが生まれた。

目的・目標

令和5年3月に策定した第7次飯田市男女共同参画計画において施策の柱の一つとして掲げた、ワーク・ライフ・バランスの推進や職場での格差解消と女性活躍の推進に関する取組を本事業で推進する。
【数値目標】 家庭・地域・職場における平等意識の浸透
（「男性が優遇されている」と感じる人の割合の減少）
⇒家庭30.1%⇒22.0% 地域52.8%⇒36.0% 職場51.5%⇒35.0%
（平成28年度末⇒令和8年度末）

連携団体

市移住定住部署と連携した。

今後の課題

女性起業家交流会に参加する女性が固定化せず、新たな参加者を巻き込んで、より多くの女性起業家育成につなげる交流会にしていける必要がある。また、交流会の運営については、専門的な知見を持つ者が行うことが効果的であるため、こうした人材を地域内で複数確保する必要がある。

事業の概要

起業どうしようかなクラブの開催

家事育児や介護等と両立させた働き方、自分らしい働き方や起業等に関心のある方々が集い、学び、仲間を増やす場として、全10回の講座を開催しました。延べ105名が参加しました。

【対象者】

- 1 家事育児や介護と両立させながら、自分らしい働き方を模索したい方
- 2 起業に関心のある女性
- 3 上記の動きに関心のある地域住民

【内容】

- 1 定期的な情報交換会及び交流会
- 2 起業、柔軟な働き方に向けて必要な情報提供
- 3 家事育児と起業を両立させた先輩女性からの助言等

実施日	テーマ	参加(人)
7月28日	オリエンテーション、自己紹介	9
8月24日	経営とは何か	8
9月26日	起業を達成する様々な「角度」	13
10月26日	「なぜ起業するのか」を考えてみる	15
11月17日	起業における「複利効果」について	14
12月13日	起業と「観察力」	4
1月23日 24日	参加者の起業に関する悩みの共有 ※23日は昼開催、24日は夜開催	19
2月20日	課題の整理とグループワーク①	11
3月19日	課題の整理とグループワーク②	12



【参加者の声】

- ・「みなさんの話を自分に置き換えて聞いていました。ここは視点を変えられるありがたい場です。」
- ・「自分のモヤモヤが整理されて視野が広がりました。」
- ・「不安でいっぱいでしたが、みなさんも『そうなんだ』とわかって、励みになりました。」
- ・「やりたいことを伝えても『いいね』と言ってくれる人が周りにいなかった。この場にはやりたいことがある人たちが集まっていて感激しました。」

【連携事業「暮らすroom's」】

女性のwell-beingをテーマに、ゲストを招いてのトークショー、飯田市長を交えての「長野県内女性の働くことへのアンケート結果」の意見交換、女性起業家等のブース出展を行いました。15名の参加がありました。